

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度 第3回入間市健康福祉センター運営協議会
開 催 日 時	令和5年1月25日(水) 午後7時00分 開会・午後8時20分 閉会
開 催 場 所	入間市健康福祉センター3階 301・302会議室
議 長 氏 名	入間市健康福祉センター運営協議会会長 諸井 和江
出席委員(者)氏名	岩崎 廣司 委員 金子 明美 委員 滝沢久美子 委員 花井 康行 委員 比留間友治 委員 星野ふみ子 委員 諸井 和江 委員 佐藤 啓吾 委員 柳 辰男 委員 山本 寛 委員 今井 英雄 委員 高橋恵美子 委員 藤牧 利昭 委員
欠席委員(者)氏名	寺師 良樹 委員 田邊 仁 委員
説明者の職氏名	健康推進部長 岸 道博 健康推進部次長 中村 孝 健康推進部参事兼所長 鹿山 泰隆 健康推進部副参事 今井 文香 地域保健課 主幹 江浦 勇人 地域保健課 主幹 吉川真奈美 地域保健課 副主幹 設楽久美子 地域保健課 主査 今藤 明子 地域保健課 主査 山川 久子
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 第4次健康いるま21計画について ① 第4次健康いるま21計画の策定について ② 事前意見に対する回答 ③ 第4次健康いるま21計画の作成スケジュールについて (2) その他 4 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料1 第3次健康いるま21計画 資料2 第2次元気な入間食育基本計画【概要版】 資料3 入間市歯と口腔の健康づくり基本計画【概要版】 資料4 入間市自殺対策計画 資料5 「第4次 健康いるま21計画」の策定について 資料6 第4次健康いるま21計画 策定スケジュール 資料7 第3次計画の評価 資料8 市民健康実態調査報告書 資料9 パワーポイント説明資料
事務局職員職氏名	健康管理課長 須田 英樹 健康管理課 主幹 吉田 智博 健康管理課 主事 九住 有梨華
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 議 題

(1) 第4次健康いるま21計画について

第4次健康いるま21計画の策定についての概要とスケジュールについて説明した。

(2) その他

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種率について
- ・ 次回の協議会の日程について

以上2点について報告した。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
司会(健康管理課主幹)	開会(省略)
諸井会長	会長あいさつ(省略)
議長	<p>本日の出席委員は13名です。健康福祉センター運営協議会条例第6条第2項の規定に基づき委員の半数以上が出席されていますので、会議は成立します。会議録の署名委員は佐藤委員にお願いします。</p> <p>それでは議事に入ります。第4次健康いるま21計画について事務局より説明願います。</p>
健康推進部参事兼所長	<p>まず、議案に入る前にご報告があります。以前ご協議いただきました「入間市健康福祉センタートレーニング室の見直し」につきまして、令和4年12月議会にて、議案第94号入間市健康福祉センター条例の一部を改正する条例として上程し、議決をいただくことができました。委員の皆様には、慎重にご審議を賜りありがとうございました。その後、トレーニング室の運営方法の改正について利用者には、ポスターやチラシ、ホームページ等で周知しております。今後も利用者への丁寧な説明やニーズに配慮したサービスの提供を心がけていきたいと思っております。</p> <p>さて、本日の令和4年度第3回運営協議会からは、令和6年度からの第4次健康いるま21計画の策定についてご審議をお願いしたいと思っております。事務局から後ほど詳細な説明をさせていただきますが、第4次計画ではそれぞれ策定しておりました4つの計画を一本化する予定です。次期計画も、市民の健康維持、健康増進を推進するため、それぞれの計画内容をより精査し、より理解しやすい計画を策定したいと思っております。ご審議のほど、よろしく願いいたします。</p>
地域保健課主幹	<p>それでは、第4次健康いるま21計画の策定についてご説明させていただきます。本日は、資料と合わせてパワーポイントで説明をさせていただきます。</p> <p>まず、資料5「『第4次健康いるま21計画』の策定について」をご覧ください。本市では平成20年度に健康いるま21計画を策定し、市民の健康づくりを推進するための相互的な取り組みを展開してまいりました。平成26年度に、第2次、令和元年度に第3次健康いるま21計画を策定いたしました。第3次健康いるま21計画が令和5年度末に終了するにあたり、新たな社会状況の変化や、健康課題等に対応しながら、さらなる市民の健康づくりを推進するための第4次健康いるま21計画を策定いたします。第4次健康いるま21計画は、第3次元気な入間食育推進計画、第2次歯と口腔の健康づくり基本計画、第2次入間市自殺対策計画を統合した計画として各分野の取り組みを相互に進めていきたいと思っております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ここからは、それぞれの計画について説明させていただきます。</p> <p>まず、資料 1 をご覧ください。第 3 次健康いるま 21 計画は、基本理念を「だれもが生き生き『元気な人間』」とし、基本方針を(1)健康寿命の延伸(2)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底(3)健康を支え守るための地域づくり、の 3 つとしています。さらに分野ごとに分け、成人を対象とした目標を設定しています。</p> <p>次に資料 2、第 2 次元気な人間食育基本計画は、平成 29 年度から令和 5 年度までの計画であり、基本理念の、食を通して市民が心身ともに健康でさまざまな交流の環を広げ、恵まれた自然、環境に感謝し、地域や食に関わる団体、行政などの協働により、食を通じて生きる力を育むとした理念に沿って、「人」「まち」「自然」を大きな柱として取り組んでおります。本計画には、全年齢を対象にライフステージごとの目標を設定しています。なお、計画の一本化に向け、異なっていた計画期間を合わせるために計画を延長しております。</p> <p>続いて資料 3、入間市歯と口腔の健康づくり基本計画は、平成 27 年 7 月から令和 5 年度までの計画となります。こちらは条例に基づく計画であり、目指す姿を「いつまでも、健康な口で、食べる喜びをかみしめよう」とし、基本理念を(1)市民が生涯にわたり歯と口腔の健康づくりに取り組むことを促進すること(2)乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔とその機能の状態及び歯科疾患の特性に応じて、適切かつ効果的に歯と口腔の健康づくりを推進すること(3)保健医療、社会福祉、労働衛生、教育その他の関連施策の有機的な連携を図りつつ、その関係者の協力を得て、総合的かつ計画的に歯と口腔の健康づくりを推進することとしています。また、全年齢を対象にライフステージごとの目標を設定しています。なお、本計画も一本化に向け、異なっていた計画期間を合わせるために計画を延長しております。</p> <p>最後に、資料 4、入間市自殺対策計画は、令和元年度から令和 5 年度までの計画となっております。基本理念を「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」として、国で示された 5 つの基本方針(1)生きることの包括的な支援(2)関連施策との連携の強化(3)対応の段階に応じた施策の効果的な実施(4)実践と啓発を両輪とした推進(5)関係機関の役割の明確化と連携・協働の推進、に沿った相互的な対策を推進しています。本計画も全年齢を対象に、国の方針を踏まえて具体的な推進策をまとめています。</p> <p>ご説明したとおり、健康いるま 21 計画だけ成人期を対象としており、第 4 次健康いるま 21 計画策定にあたっては、ライフステージごとの取組を設定しようと考えています。第 4 次健康いるま 21 計画では、基本理念を本市の入間未来都市計画の中にある 2030 年のあるべき姿「健康と幸せを実感できる Well-being City いるま」と掲げたいと考えております。</p> <p>また、基本方針は、(1)健康寿命の延伸(2)健康的な生活習慣の獲得と健康問題の早期発見・重症化予防の徹底(3)健康を支え、守るための地域づ</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>くり(4)生涯にわたり持続できる健康づくり、の4点を挙げています。</p> <p>ご説明ありがとうございます。委員の皆様、ご質問などございましたらお願いいたします。</p>
今井委員	<p>今回、4つの計画が一本化されるとのことですが、国の方針、県の方針、入間市独自の方針、のどれでしょうか。</p>
地域保健課主幹	<p>国から一本化の指示が出ている訳ではありません。他市の状況を見ると、一本化している市が多く、一本化を考えています。また、分野によっては内容が重なる部分があるため、そこを活かしつつそれぞれの計画の策定を考えています。なお、事前にいただいたご質問もいくつかありますので、この後説明させていただければと思います。</p>
議長	<p>他に質問等がありますか、</p> <p>(意見等なし)</p>
議長	<p>なければ事務局より説明の続きをお願いします。</p>
地域保健課主幹	<p>それでは、事前にいただいたご質問の内容について順次お答えします。</p> <p>まず、「資料1・2・3のいずれに関しても、どこに・誰に・どの程度、配布したのか。その結果、利用、活用された実情を把握されている実例を教えてください。」という質問に回答いたします。配布先は公民館、図書館、市内の小中学校、高校、包括支援センター、医師会、歯科医師会、食生活改善推協議会、母子愛育会等関係団体に配布させていただきました。実例については、計画の中に「生活習慣を見直して、質の良い睡眠を取れる人を増やす」という目標がありましたが、それを達成するために中学校との協働による心の健康、睡眠の質を高めるための取り組みを現在実施しております。また、市では明治安田生命と包括協定を結んでおり、包括協定で心のパンフレットを作成し、中学校等で配布させていただいています。それに伴い、家政大学の教授が女性の飲酒に関する項目について、独自の啓発パンフレットを大学で作成してくださいました。来年度から配布予定となっています。次に「資料1・2・3のいずれに関して、市行政として、どのような利用・活用をしてきたか。」という質問に回答いたします。食育に関して、食育推進リーフレットを作成し、「朝食と副菜で元気な入間」の周知をしたり、食育講演会を開催したりしております。歯科の計画については、平成27年7月に計画策定後、重点的な取り組みとして平成28年から2歳児の歯科健診を開始しました。その結果、令和元年度には3歳児の虫歯のない子どもが90.3%となり、掲げていた目標値であ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>る 90%を達成いたしました。</p> <p>続いて「『第 4 次健康いるま 21 計画』策定を『食育推進計画』と『歯と口腔の健康づくり基本計画』と一本化するのは、良いと思うが、今まで別にしてきた『入間市自殺対策計画』はコロナ社会において重要な課題であり、緊急な対応が求められていると思う。現在の入間市の自殺の現状を知りたい。」という意見について、回答いたします。第 4 次健康いるま 21 計画の中で分野ごとに取り組みを示しつつ、章ごとに食育推進計画、入間市歯と口腔の健康推進計画、入間市自殺対策計画としたいと思っております。入間市の自殺の現状については、増減はあるものの高止まりの傾向にあります。現在、令和 3 年度までの資料をお示ししているところですが、新聞等報道機関の令和 4 年度の暫定値を見ると、上がることも予想されます。入間市の状況としては、男女比では男性の方が多い状況が続いています。また、「地域実態自殺ファイル 2021」という形で毎年、国から情報提供があり、その中で入間市の重点課題は、高齢者、生活困窮者、若者となっています。コロナ以降は、女性の方が男性よりは少ないとはいえ増加傾向にあるため、女性に対する対策の必要性も国から示されているところです。本計画は令和元年度に政策したものであるため、令和元年度以前のデータが中心となっておりますが、先ほどお示したように最新のデータを用いながら、次の計画の策定に活かしていきます。</p> <p>次に「市民健康実態調査は今まで通り 18 歳以上 2,000 人を対象に実施するのか。幼児・児童・生徒が対象の調査は、だれもが生き生き暮らせる『元気な入間』の基本目標からどのように考えていくのか。」という質問に回答いたします。本日配布した資料 8「市民健康実態調査報告書」の 1 ページをご覧ください。今回は、成人期に加えて学齢期、幼児期の方を対象とさせていただきます。対象人数は、成人期は 2,000 人、学齢期は 420 人、幼児期は 544 人となっております。</p> <p>続いて、栄養食生活の調査についての「朝食を取らない 30 代の、朝食を取らない理由と仕事の関係を調査しているか。仕事の終了が遅く、夕食の時間が遅れるために朝食が取れないのではないかと思う。」「夕食の時間調査があれば教えてほしい。」という質問に回答いたします。どちらも今回の調査では実施しておりません。参考として申し上げますと、令和 3 年 4 月に市が実施した調査では、朝食を取らない方の理由については、「時間がない」「食欲がない」「勤務形態の関係で食べない」「ダイエットのため」という意見がありました。</p> <p>また、歯と口腔の健康についてもいくつか質問がありましたので回答いたします。まず「無料特定健診の案内が送付されているが、何歳からの人を対象にしているか。年齢を下げて、広く検診の案内を行ってみてはどうか。人間ドックの際にも、歯科検診項目を追加したらどうか。」という質問に回答いたします。検診対象は、40 歳、50 歳、60 歳、70 歳の節目年齢の方が対象となり、現在治療中の方は対象外となります。歯科検診は、健</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>康増進法に基づく歯周疾患検診として実施しているものです。国の方針として国民皆歯科健診の導入の検討はされていますが、市も国の動向を見ながら実施していきたいと考えています。成人歯科検診と人間ドックを同時に行うという点につきましては、特定健診の指定医療機関と成人歯科検診の指定医療機関が異なるため、現時点では、体制を整えることが難しく、今後の課題とさせていただければと思います。また、「歯科検診に来院の際に、歯ブラシ・歯間ブラシのサンプルを配布し、歯科衛生士による使用方法の講習をしてはどうか。60歳で24歯以上、80歳で20歯以上の方が増加すると思う。」という意見もいただきました。計画策定の際に、参考にさせていただきます。</p> <p>そして、計画全体についての意見もいただきましたので、ここで回答させていただきます。「PLAN、DO、CHECK、ACTIONのうち、PLANは良いと思うが、目標に対してのDOをどのように実行されるか。詳細を記載した方がアピールできると思う。」という意見をいただきました。計画の中で、どのように表記していくかは担当で検討させていただきます。</p> <p>続いて、第3次健康いるま21計画の内容についての質問をいただいております。まず、「第4章 1 栄養・食生活 (3)適正体重の維持において、なぜ20～60歳代男性の肥満者と20～30歳代の女性のやせの人の割合だけ比較したのか。」という質問に回答いたします。こちらについては、第2次健康いるま21計画の目標に対する評価となっています。本計画は、埼玉県健康長寿計画の指標と合わせて示しているものです。第2次健康いるま21計画を策定した時点で、入間市においても埼玉県の指標に沿うべきと捉え、入間市も同様の評価をいたしました。</p> <p>第4次健康いるま21計画についての質問もいただきましたので回答いたします。「元気な入間食育推進計画、歯と口腔の健康づくり基本計画、入間市自殺対策計画の内容を一本化して第4次健康いるま21計画とする方針のようだが、計画書のボリュームはどの程度か。運営協議会ではどの程度の時間を見込まれているか。第3次健康いるま21計画の内容と上記の計画の内容が重複する部分が見受けられるが、項目立ても運営協議会中での審議になるのか。」という質問に回答いたします。まず、ページ数については、180ページから200ページを予定しています。時間に関しては、夜間の会議になりますので、1時間半から2時間で収めたいと思っており、第3次計画策定時と同様に事務局案を提示したうえで、ご審議いただく形式をとらせていただきたいと思います。また、「運営協議会の審議に時間を要するような場合、昼間の時間帯での協議会開催は可能か。」という質問もいただいております。委員の皆様の仕事の都合等で昼間の開催が難しい状況にあることをご理解いただければと思います。</p> <p>最後に、第3次健康いるま21計画についての質問に回答いたします。まず、「第3次計画の位置付けの中で、本市における他の個別計画に盛り込まれた健康づくりに関する計画の5計画のうち、資料2・3・4以外の入</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>間市国民保険データヘルス計画・入間市スポーツ推進計画について資料等があるか。」という質問をいただきました。資料を準備しておりますので、必要であればお声がけください。</p> <p>続いて、「第3次計画の推進にあたり、その評価を健康いるま21推進会議、健康いるま21ワーキングチームによる取り組みの状況確認と評価を年度ごとに実施し、入間市健康福祉センター運営協議会に報告すると記載があるが、この評価の実施報告資料等があるか。」という質問に回答いたします。毎年度、健康福祉センターの事業概要を作成しておりますので、これを持ってご報告とさせていただいております。合わせて資料7「第3次計画の評価」をご覧ください。第3次健康いるま21計画の目標、指標に対する評価というものをお示しさせていただいております。これは、市民実態調査の結果をもとに評価をしているものです。評価の中で達成度がよろしくないものもあります。新型コロナウイルス感染症の影響がある可能性もありますが、今回示させていただいた資料の中では、新型コロナウイルス感染症の影響という言葉は入れておりませんのでご理解いただければと思います。以上で回答は終了となります。</p>
議長	事務局の回答についてご質問、ご意見ございますか。
柳委員	素晴らしい調査をされているので、大学で専攻されている方に見てもらっていると聞き、嬉しく思います。このような調査を今よりもさらに活用できれば良いと思います。例えば、配布される際に、小学校、中学校の学校長だけでなく、現場の先生などに活用していただければ、より効果があると思います。大学でも活用していただけるよう、関係機関だけでなくもう少し幅を広げる配布方法を考えてほしいと思います。
地域保健課主幹	地域保健課として地区ごとに専門職が対応させていただいており、それぞれの地区担当が、小中学校の先生方、養護教諭の先生方と様々な話題を共有できる関係になってきているところです。もっと広められるように努めて参ります。
諸井会長	資料7「栄養・食生活」の部分について質問があります。(1)バランスのよい食習慣の実践という点について、朝食を毎日食べる人の割合の数値が出ていますが、ここにおける「朝食」とは、どんな食事内容を示しているのでしょうか。
地域保健課主幹	食事内容に関する回答制限は設けておりません。他の項目に「週5日以上副菜を食べる人の割合の増加」とあるように、いくつか項目がある中での指標の1つとして挙げているものなので、1つの指標として見ていただければと思います。

発 言 者	発 言 内 容
諸井会長	<p>子育て世帯において、夜ご飯が遅く、子どもの夜ご飯も遅くなり、簡単な物を食べている家庭もあれば、三食栄養のバランスを考えた食事をしている家庭もあります。家庭による食生活の差が、睡眠時間や心身の成長に関して様々な影響を与えます。今の子育て世帯は、どのような朝食を取っているのか、データはありますか。</p>
地域保健課主幹	<p>本日お配りしている資料 8「市民健康実態調査報告書」の 17 ページから、食事に関する調査を掲載させていただいております。また、27 ページには、「休養・心の健康について」という調査を掲載しております。健康・休養・食生活様々なものがリンクしていると考えておりますので、総合的に捉えて健康づくりを推進していければと思っています</p>
今井委員	<p>「運営協議会の審議を昼間の時間に開催可能か。」という意見について、事務局の回答は、委員の都合で昼間に集まるのが難しいというものでした。昼間に会議を開催する場合、医師会等から委員を出すのが難しいというお話があり、慣例的に夜の開催になっているのだと思います。次回の選出の際には、昼間に出席することができる委員を出していただきたいと伝えるべきだと思います。</p>
議長	<p>最後に、第 4 次健康いるま 21 計画スケジュールについて事務局より説明願います。</p>
地域保健課主幹	<p>第 4 次健康いるま 21 計画の策定スケジュールについてご案内させていただきます。資料 6「第 4 次健康いるま 21 計画 策定スケジュール」をご覧ください。こちらは年度を基準に作成させていただいております。まず、組織図について口頭で説明させていただきます。「幹事会」とは、健康推進部長を筆頭にした管理職の組織になり、表上の隣にあります「策定委員会」の出す計画を承認する役割を持っております。「策定委員会」が健康いるま 21 計画の策定の中心になる組織であり、地域保健課長が筆頭となっています。健康福祉センターの健診、健康づくり、地域保健の各リーダーと各専門職が、分野ごとに計画を策定する予定となっております。その隣に記載されている「ワーキングチーム」は、市役所の本庁にあるスポーツ推進課、学校教育課等、計画に関わっている部署となります。先ほど挙げた 6 つの分野で、全てのライフステージごとの策定となると、広い組織に協力を依頼する必要があり、分野ごとにワーキングチームを作成しており、それぞれの担当課から意見を聴取するという形をとっています。昨年の夏頃から策定の作業に入り、アンケートを実施しました。本日は、1 月下旬のスケジュールにあたる 1 回目会議となります。令和 4 年度としては 3 回目の運営協議会ではありますが、第 4 次健康いるま 21 計画の会</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>議の1回目ということで記載しています。次回の会議は、3月中旬を予定しております。市長の方から諮問をさせていただき、計画の素案についてご審議いただければと思います。その後、令和5年度6月に3回目、8月に4回目、9月に5回目を予定しております。10月に庁内意見、11月にパブリックコメントの聴取を行い、来年度の年末には答申をいただきたいと考えております。</p> <p>その他を議題といたします。委員の皆様から何かございますか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>なければ、事務局から連絡事項をよろしく願いいたします。</p>
健康推進部副参事	<p>現在のコロナウイルスワクチンの接種状況についてご報告いたします。今年度は乳幼児接種や、オミクロン株対応ワクチンによる追加接種等も加わり、並行して実施しております。接種率については、12歳以上の1、2回目接種は、89.40%となっており約9割の接種率となっております。3回目の接種が75.59%、4回目が51.15%、5回目が25.46%となっております。オミクロン株対応ワクチンによる接種率は、47.10%となっており、全国の接種率が40.1%ですので、5割には満たしませんが、多少高い接種率です。初回接種は9割近く接種されていますが、オミクロン株の流行により、新型コロナウイルス感染症への危機意識が低下しているように見受けられます。5歳から11歳までの方が対象の小児接種については、1、2回目接種を終えた方は25.91%、3回目は12.38%となっております。どちらも全国の接種率よりは高くなっております。生後6ヶ月から4歳までの方が対象の乳幼児接種については、入間市は11月末から開始しておりますが、1回目の接種率が6.16%、2回目の接種率は4.08%となっております。3回目の接種は、2回目接種から8週間後となりますので、3回目の接種はまだ始まっておりません。基礎疾患をお持ちの方や心配されている保護者の方の判断により、少しずつ接種をされているような状況です。近日ニュース等で新型コロナウイルス感染症が5類相当に下がるような動きが出ており、ワクチンについても、現在の特例臨時接種から自己負担への移行なども決まっていくと思います。市の対応につきましても、国の動向に従って検討していく予定です。</p>
健康管理課長	<p>次回の開催は3月15日(水)を予定しております。正式に決定いたしましたら、皆様にご通知いたしますのでよろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>これで議題は終了しましたので、議長を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
柳副会長 司会 (健康管理課主幹)	閉会あいさつ (省略) これで令和 4 年度第 3 回健康福祉センター運営協議会を終了いたします。

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和5年 2月 15日

議 長 の 署 名 _____ 諸井 和江 _____

議長が指名した者の署名 _____ 佐藤 啓吾 _____